

●爆弾低気圧による被害

4月3日から5日かけて全国的に被害をもたらした爆弾低気圧は、新潟県にも大被害をもたらしました。園芸ハウスなどのハウス被害は4000棟を上回る状況とされています。大豆研究会会員の皆様の中にも被害を受けられた方が多数いらっしゃると思います。

被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。



新潟市西区黒崎地内にて

●大豆300Aアンケートにご協力ありがとうございました

先月、新潟クボタ大豆研究会の会員の皆様に大豆300Aプロジェクトアンケートをお送りさせて頂きました。多数のご回答大変ありがとうございました。

アンケートを集計致しましたので、一部ご紹介させていただきます。

★大豆300Aプロジェクトに参加してよかったと思うことは何ですか？(複数回答可)
という設問に対し順位5位までを上げると、以下のような結果になりました。

- 1 大豆栽培において「排水対策」は大事だと改めて感じた
- 2 大豆の栽培についての理解が深まった
- 3 大豆の機械化体系についての理解が深まった
- 4 「よい大豆を作ろう」という意識が上がった
- 5 大豆栽培において「水」は大事だと感じた

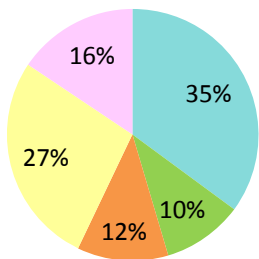


大豆栽培の理解や、「よい大豆を作ろう」との意識の向上が挙がったのは非常に良いことだと喜んでおります。また、改めて「排水対策」を見直してもらい有難く思っています。

大豆研究会通信<No.12>にも掲載しましたが、8月の開花期のころは水が必要ですが、その後水は急激に必要としなくなります。このように、排水対策を徹底しないと大豆栽培に不可欠な「水」を供給することができません。

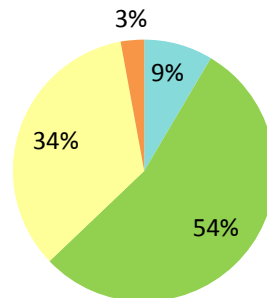
今年も、大豆300Aプロジェクトは基本を大事にして高品質・安定多収を目指してまいりますのでご協力、ご指導をよろしくお願い致します。

Q.補助暗渠(サブソイラ等)は実施されていますか？



- 以前からしていた
- ここ3年以内に始めた
- これから実施したい
- 興味はある(実演で使ってみたい)
- 実施しない

Q.実施している方、補助暗渠の間隔は？



- 10m以上
- 5m以上
- 5m未満
- 無回答



大豆300Aプロジェクトアンケートは、まだまだご回答お待ちしております！ぜひご協力お願いします！
ご協力頂いた方に、大豆300A特製オリジナルキャップを贈呈致します！



●注目の狭畦・摘芯栽培技術

新潟クボタ大豆研究会では今年、大豆栽培で注目の狭畦・摘芯栽培技術の実証を計画しています。詳細は決まり次第お知らせします。

狭畦・摘芯栽培とは

狭畦栽培は培土をしなくても良い省力技術です。また、最下着莢位置を高め莢数も容易に確保できます。ただ、主茎長が伸びやすいので摘芯をします。時期的には開花2週間～5日前位の時期に主茎の上部5cm程をカットすることより倒伏を軽減する技術です。

研究会では皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、気になる情報・話題をご提供下さい。



●畑作機械実演・試乗会を開催しました！

3月15日に新潟市西区赤塚にて畑作機械実演・試乗会を開催致しました。お客様138名、関係者48名、計186名の参加者にお集まり頂きました。

天候に恵まれましたが、非常に寒い1日でした。そんな中、皆様一日中途切れることなく熱心にご参加頂きました。

今後もソリューション営業部は新しい試みに挑戦していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



●ご挨拶

皆様こんにちは。現在、見習い中の東浦（ひがしうら）です。今月から大豆研究会通信を作成していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

大豆栽培は初めての体験です。これから大豆の現地研修会や研修会以外で自分で体験した実作業を感想を交えお伝えしていきたいと思っております。

4月2日（月） 晴れ

今年度の大豆実証圃であります上越の農事組合法人 福橋様の圃場で排水対策作業をしてきました。

初めて、平鍬や三本鍬・ホソなどの昔からの農具を使い明渠の接続をしてきました。農業の知識の前に、まずは農具の使い方から学んでいかなければと思っておりました。

農業のことはほとんど知りませんので、私のことを見かけたらぜひぜひ声を掛けてきて下さいね。

